

問1 モンシロチョウが、花のみつを食べようになるのはどの時期ですか。

1. 成虫せいちゅうのとき                      2. たまごのとき                      3. さなぎのとき                      4. 幼虫ようちゅうのとき

問2 草むらや木の近くにこん虫が多くいるのは、なぜですか。

1. 食べ物はなくて、およぐ練習ができるからです。                      2. 食べ物がなくて、敵てきからすぐに見つかるからです。                      3. 食べ物があつたり、敵てきから身をかくしたりできるからです。                      4. 食べ物があつて、いつでも人間につかまえてもらえるからです。

問3 チョウのあしがついている部分と、あしの本数の組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. はらに6本のあしがついている                      2. むねに8本のあしがついている                      3. 頭に4本のあしがついている                      4. むねに6本のあしがついている

問4 動物がくらす場所のとくちょうとして、ダンゴムシはどのような場所にいることが多いですか。

1. 日当たりのよい花の上                      2. かわいた砂すなの上                      3. 石の下などの日かげ                      4. 高い木のとっぺん

問5 チョウなどのよう虫は、どのようにして体を大きくしていきますか。

1. 土の中にもぐる。                      2. 水をたくさん飲む。                      3. ずっとねむり続ける。                      4. 皮をぬぐ。

問6 白い羽もように模様があり、花のみつすを吸う虫はどれですか。

1. トノサマバッタ                      2. オニヤンマ                      3. モンシロチョウ                      4. アブラゼミ

問7 こん虫の体の部分のうち、目やしよっ角すがついていて、身の回りのようすを感じ取ることができる部分はどこですか。

1. 腹はら（はら）                      2. 足（あし）                      3. 胸むね（むね）                      4. 頭（あたま）

問8 バッタやトンボのように、さなぎにならないこん虫は、よう虫のつぎにどのようなすがたになりますか。

1. さなぎ                      2. はっぱ                      3. せい虫                      4. たまご

問9 子葉（しょう）の形には、どのようなとくちょうがありますか。

1. 次にでてくる葉とはちがう形をしている。                      2. 次にでてくる葉とまったく同じ形をしている。                      3. 花びらとまったく同じ形をしている。                      4. 根（ね）とまったく同じ形をしている。

問10 かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことを何といいますか。

1. ずこう                      2. しゃしん                      3. スケッチ                      4. らくがき

問11 アゲハが、ミカンやサンショウの葉などにうみつけるものは何ですか。

1. アゲハのたまご                      2. カブトムシのたまご                      3. カマキリのたまご                      4. モンシロチョウのたまご

問12 体が「頭」「むね」「はら」の3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物のなかまを何といいますか。

1. 鳥（とり）                      2. けもの                      3. 魚（さかな）                      4. こん虫

問13 ホウセンカ、マリーゴールド、ヒマワリなどの植物の育ち方について、正しいものはどれですか。

1. 実くきができたあとに、茎や葉が育ち始めます。                      2. 植物の種類しゆるいによって、芽めが出る前に花さが咲くなど、育つ順序じゆんじよはバラバラです。                      3. たねをまく前に、まず花さが咲いて実くきができます。                      4. どの植物も、たねをまいてから実くきができるまで、同じ順序じゆんじよで育ちます。

問14 虫めがねを使って、手に持てる小さな草花などをかんさつするとき、よく見えるようにするためには、何を動かしますか。

1. 地面                      2. 見ているもの                      3. 自分の頭                      4. 太陽

問15 チョウの育ち方で、よう虫の次になり、せい虫になる前の時期を何といいますか。

1. たまご                      2. さなぎ                      3. せい虫                      4. よう虫

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	<b>答え 1</b> せいちゅう 成虫のとき	モンシロチョウは、成虫 <small>せいちゅう</small> の時期になると花のみつを食べるようになります。
問2	<b>答え 3</b> 食べ物があったり、敵 <small>てき</small> から身をかくしたりできるからです。	こん虫は、食べ物がある場所や、敵 <small>てき</small> から身をかくれるところがある場所に多く集まります。
問3	<b>答え 4</b> むねに6本のあしがついている	チョウのあしは、むねの部分に6本ついています。頭にはしよっ角や目があります。
問4	<b>答え 3</b> 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、しめり気がある場所や、石の下などの日かげ <small>この</small> を好んでくらしています。
問5	<b>答え 4</b> 皮をぬぐ。	よう虫は、皮をぬぐ（だっぴする）ことで、体を大きくしていきます。
問6	<b>答え 3</b> モンシロチョウ	白い羽 <small>もよう</small> に模様があり、花のみつ <small>す</small> を吸う虫はモンシロチョウです。
問7	<b>答え 4</b> 頭（あたま）	こん虫の頭には、目やしよっ角がついていて、身の回りのようすを感じ取るはたらきがあります。
問8	<b>答え 3</b> せい虫	さなぎにならないこん虫は、よう虫のつぎにさなぎの時期をとおさず、そのまませい虫になります。
問9	<b>答え 1</b> 次に出てくる葉とはちがう形をしている。	子葉は、その次に出てくる葉とはちがう形 <small>とくちよう</small> をしているという特徴があります。
問10	<b>答え 3</b> スケッチ	かんさつしたものの色や形がよくわかるように、ていねいにかく絵のことをスケッチといいます。
問11	<b>答え 1</b> アゲハのたまご	アゲハは、ミカンやサンショウの葉などにたまご <small>とく</small> をうみつける特ちょうがあります。
問12	<b>答え 4</b> こん虫	体が頭・むね・はらの3つの部分に分かれていて、むねに6本のあしがある動物を「こん虫」といいます。
問13	<b>答え 4</b> どの植物も、たねをまいてから実ができるまで、同じ順序 <small>じゆんじよ</small> で育ちます。	ホウセンカやマリーゴールド、ヒマワリなどの植物は、たねをまくと芽 <small>め</small> が出て、茎や葉 <small>くき</small> が育ち、花が咲いて、実ができるという同じ順序で育ちます。
問14	<b>答え 2</b> 見ているもの	虫めがねで見ているものが動かせるもの場合は、見ているものを動かしてよく見えるようにします。
問15	<b>答え 2</b> さなぎ	チョウは、よう虫のあとにさなぎの時期をへて、せい虫へと育ちます。